

【資料1】

令和4年度 宮城県地域年金展開事業実施結果

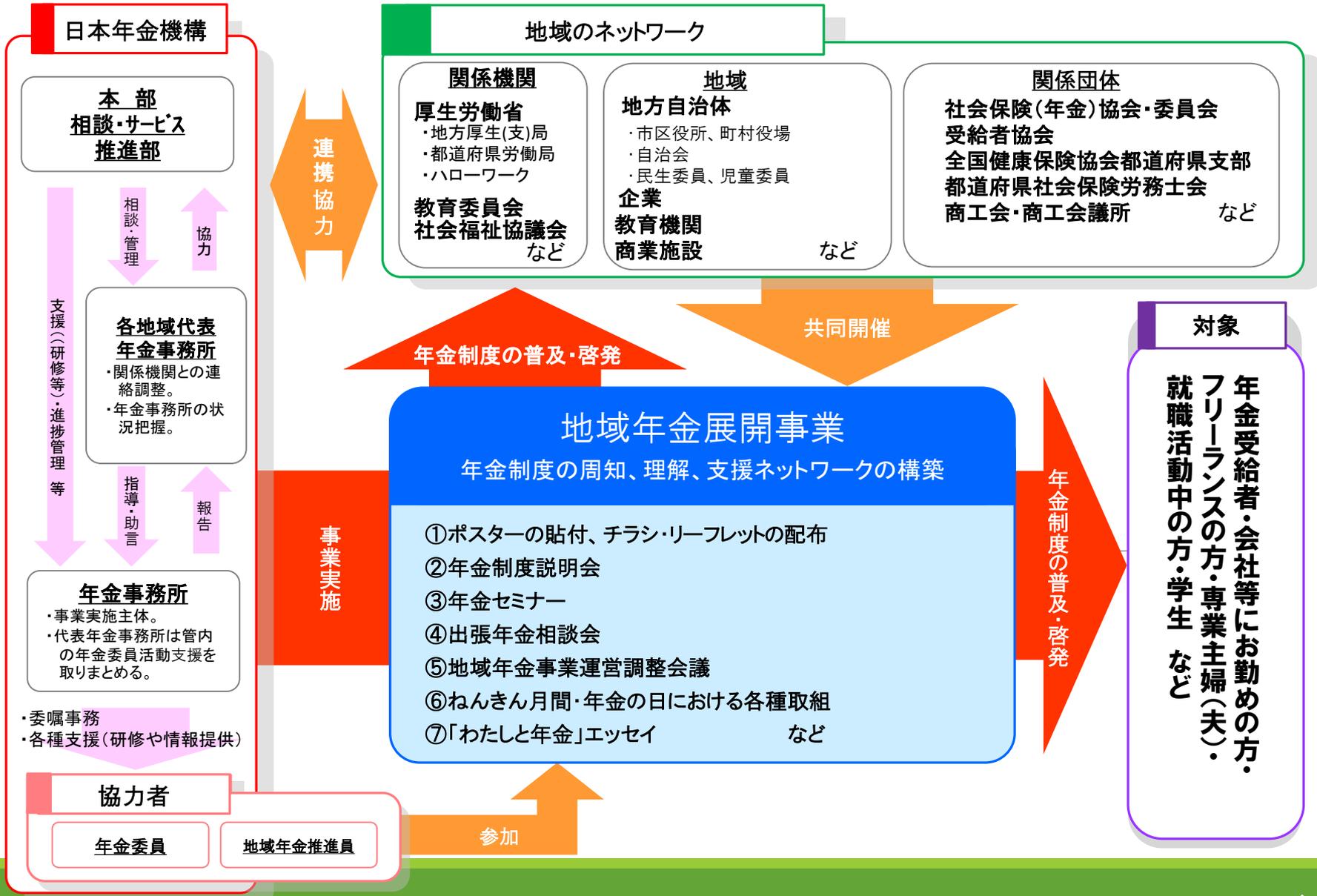


仙台東年金事務所(宮城県代表年金事務所)

目次

1	地域年金展開事業の概要	P 2
2	地域連携事業	P 4
3	年金セミナー事業	P10
4	地域相談事業	P15
5	年金委員活動支援事業	P16
6	「ねんきん月間」「年金の日」の取組	P20
7	宮城県地域年金事業運営調整会議	P20
8	各年金事務所の取組	P21

1. 地域年金展開事業の概要(1/2)



1. 地域年金展開事業の概要(2/2)

地域年金展開事業の主な取組

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《これまでの取組内容》

地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付。大学での年金相談や学生納付特例の依頼等。

地域相談事業

遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業運営調整会議

公的年金事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。制度の普及・啓発等についての検討を年金事務所が行う。

2 地域連携事業

(1) 事業の取組状況

① 自治体との連携

県内の市区町村職員を対象に各年金事務所で事務研修会を開催、国民年金事務担当者に対し情報誌「かけはし」を隔月で発行し、制度周知及び情報共有を行いました。

また、対面による市区町村の新任担当者向けの国民年金事務や障害年金制度に係る研修会を実施する等により、より一層の連携強化に努めました。令和4年度においては、令和3年度を上回る18回の事務研修会を開催しました。

○事務研修会開催状況

	令和4年度 実施回数	令和4年度 出席人数	令和3年度 実施回数	令和3年度 出席人数
仙台東	2回	15人	3回	31名
仙台北	5回	25人	0回	0名
仙台南	3回	18人	1回	9名
石巻	2回	18人	2回	19名
古川	3回	52人	2回	26名
大河原	3回	18人	2回 </td <td>16名</td>	16名
計	18回	146名	10回	101名

○市町村向け情報誌「かけはし」



② 事業所の社会保険事務担当者向け事務説明会の実施

新型コロナウイルス感染症の影響から、令和3年度以降Web会議サービス(Microsoft Teams)を使用したオンラインによる事務説明会を実施しており、令和4年度においては、12回の新規適用事業所向けの事務説明会を開催した結果、延べ96事業所が参加しました。

なお、実施に当たっては、全国健康保険協会宮城支部にもご協力いただき連携して説明会を実施しております。

○事務研修会開催状況

	令和4年度	令和3年度
回数	12回	5回
事業所数	96	85



Web会議サービスを使用したオンライン事務説明会の様子

③ 関係団体等と連携した研修会・説明会等の実施

各関係団体主催または共催による研修会・説明会等への講師派遣、宮城県社会保険協会発行の広報誌「社会保険みやぎ」による制度周知等を行っております。令和4年度においては、ハローワークと社会保険未適用事業所向けの制度説明会を共同で開催しました。関係団体等のご協力により、令和3年度以上の研修会・説明会を実施することができました。

○関係団体等研修会等開催状況

	令和4年度 実施回数	令和3年度 実施回数	開催年金事務所	内容
全国健康保険協会宮城支部	7回	0回	仙台東・仙台南・石巻・ 古川・大河原	年金シニアライフセミナー 健康保険委員向け研修 新任事務担当者向け説明会
宮城県社会保険協会	7回	2回	仙台東・仙台南・石巻・ 古川・大河原	年金シニアライフセミナー 新任事務担当者向け説明会
宮城県年金協会	3回	5回	仙台北・仙台南・大河原	制度説明会
ハローワーク	4回	1回	仙台東・石巻・大河原	マザーズハローワーク※ 未適用事業所向け説明会(新規) 受給者向け説明会
適用事業所	3回	1回	仙台東・仙台南・古川	制度説明会
計	24回	9回		

※マザーズハローワーク

子育て中や子育てと仕事の両立を目指す求職者支援を主に行う事業

④ 「第4回宮城県年金ポスターコンクール」の実施

県内中学生を対象として、県内では4回目となる宮城県年金ポスターコンクールを開催しました。応募状況については、昨年度を3校上回る県内23中学校から64作品の応募があり、その中から厳正なる審査の上、各賞が決まりました。

「一人一人が支える年金」のイメージに沿った作品や年金によって将来の自分や大切な人を守りたいという優しさにあふれた作品、子供たちがお年寄りをしっかり支えている作品等、心温まる作品を多数応募いただきました。

また応募いただいた作品について、昨年度までの青葉通り地下道、石巻駅、古川駅、大河原駅での展示に加え、イオンモール新利府店や名取駅東西自由通路においても作品の展示を行い、より多くの方にご覧いただくことができました。

最優秀賞



仙台育英学園 秀光中学校

鈴木 心実さん

『審査アドバイザーからのコメント』

まず、紅葉が目飛び込んできました。すてきなポスターです。遠くに青い空、次に樹木の緑、紅葉、一番手前にベンチと、計画的にすすめ遠近感をとらえています。人物を左に寄せた構図にセンスを感じます。配色、構図を含め良く描けています。寄り添ってベンチに腰掛ける人の後ろ姿は「一人一人が支える年金」のイメージをうまく伝える作品となっています。

作品の展示



イオンモール新利府店



名取駅東西自由通路

厚生労働省東北厚生局長賞



仙台市立仙台青陵中等教育学校
岡崎 倅文 さん

『審査アドバイザーからのコメント』
「語り合う年金」と、年金について一歩深めたポスターです。その世界観は、星のきれいな夜空の下、ランプを囲んで語り合う若者の姿で表現され、とても印象的です。カップを手に持ち、本を開いて語り合うテーマはとても斬新だと思いました。

宮城県社会保険協会会長賞



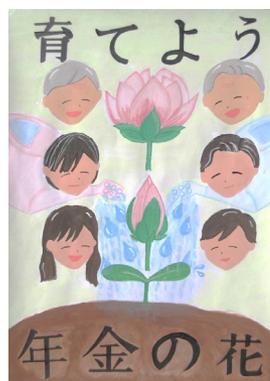
登米市立東和中学校
猪股 愛依莉 さん

『審査アドバイザーからのコメント』
後ろ姿というのは、言葉にならない雰囲気を与えます。「人生を支える年金」と文字がありますので、人生を歩んで来た人のゆたかな安心感をこのポスターから感じました。空と雲の表現、人物の観察がうまく表現されていますが、何よりもレタリングがすばらしい。文字の大きさ、間隔、バランスがうまく描けていますので、「年金」の確かさや安心感が伝わってきます。

優秀賞(3点)



仙台市立寺岡中学校
佐々木 桃音 さん



富谷市立東向陽台中学校
河内 直花 さん



登米市立豊里中学校
及川 泰生 さん

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
<p>研修会・説明会等については、自治体や関係団体等との協力や連携により実施回数を増やしたことで参加者も増加しました。また、令和4年度においては、新たに未適用事業所向けの事務説明会を実施しました。</p>	<p>令和5年度以降もより多くの方々への制度や事務手続き等の周知や情報提供を行えるよう、自治体や関係団体等との協力や連携をさらに強化しながら研修会・説明会等の地域連携事業を進めます。開催に当たっては、状況やニーズに応じてオンラインと対面を使い分けて開催します。</p>
<p>年金ポスターコンクールについては教育機関への積極的な周知活動等により、昨年度を上回る学校に参加していただきました。また、ポスターの展示会場を拡大し、より多くの方にご覧いただくことで年金事業の周知に寄与することができました。</p>	<p>年金ポスターコンクールについては、若年層を中心に年金制度へ関心を持っていただくための重要な取り組みとして、令和5年度も積極的に周知していきます。</p>

3 年金セミナー事業

(1) 事業の取組状況

① 年金セミナーの実施状況

次世代の主役となる若年層に年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただくため、年金セミナー事業を推進しています。令和4年度においては、宮城県全体の実施校及び実施回数は令和3年度を下回りましたが、大学・短期大学は、実施校及び実施人数を増加させることができました。セミナーの質の向上のため模擬セミナー等によるセミナー講師の養成に力を入れ、年金セミナー実施に当たっては、開催時の対面による質問や意見交換の時間を拡大し、多くの意見等をいただきました。

○年金セミナー実施状況(年金事務所別)

	令和4年度 実施校数	令和4年度 実施回数	令和3年度 実施校数	令和3年度 実施回数
仙台東	21校	27回	23校	31回
仙台北	16校	16回	11校	17回
仙台南	6校	12回	8校	11回
石巻	6校	12回	14校	16回
古川	5校	8回	11校	11回
大河原	9校	11回	10校	10回
計	63校	86回	77校	96回

○年金セミナー実施状況(教育機関別)

	令和4年度 実施校数	令和4年度 実施人数	令和3年度 実施校数	令和3年度 実施人数
大学、短大	14校	1,862名	12校	977名
各種学校	15校	1,119名	18校	843名
高校	29校 <small>(定時制高校2校)</small>	2,835名	45校	4,748名
中学校	0校	0名	2校	18名
計	58校	5,816名	77校	6,586名

※実施校数については1校を複数の年金事務所で行う年金セミナーを実施するケースもあり、右記教育機関別実施状況表の校数と相違しています。

② 関係団体との協力連携

宮城県社会保険労務士会や仙台国税局及び全国健康保険協会宮城支部と協力して年金セミナーの共同開催を行っており、令和4年度は新たに宮城県年金協会と共同開催しました。

○関係団体との共同開催状況

	令和4年度 実施回数	令和4年度 対象人数	令和3年度 実施回数	令和3年度 対象人数
宮城県社会 保険労務士会	4回	300名	6回	113名
仙台国税局	4回	422名	3回	194名
全国健康保険協会 宮城支部	6回	428名	1回	88名
宮城県年金協会	1回	63名	0回	0名
計	15回	1213名	10回	395名



年金セミナーの様子

③ 年金セミナー用動画(DVD)の活用

日本年金機構では、令和2年度以降、年金セミナー用動画(DVD)を作成し活用しています。

内容は制度をより分かりやすくお伝えできるよう、かつ興味を持っていただけるよう、アニメーションを取り入れる等して、工夫された動画となっています。

日本年金機構ホームページや厚生労働省YouTubeでも視聴可能となっています。

④ 地域年金推進員の活動

地域年金推進員は宮城県内に2名配置されており、県内全域を対象として教育機関への年金セミナー、制度説明会のアプローチやセミナーの講師を行っています。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から電話によるアプローチが中心となりましたが、DVDによる動画提供を積極的に活用することで効果的なアプローチを行っています。(令和4年度 DVDによる動画提供件数 20校 44枚)

※ 地域年金推進員とは？

- ☞ 次代を担う若い世代(学生)に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や学生へ伝える能力があると拠点長が判断する者を委嘱しています。地域年金推進員は、学校への年金セミナー実施の依頼や打ち合わせ等の活動をしています。

日本年金機構ホームページ内の年金セミナー用動画の紹介ページ

1. 動画

公的年金はみんなの強い味方



公的年金制度についてわかりやすく説明した全3話のアニメーション動画です。皆さんも、主人公のシヨウ君と一緒に楽しく公的年金制度を学んでみませんか。

[公的年金はみんなの強い味方](#)

国民年金ってホントに必要なの！講座



公的年金制度を「純太郎」に例えながら、国民年金の仕組みや役割、大切さをわかりやすくアニメーション動画にしています。学生の方から大人の方まで、幅広い方にご覧いただける内容です。

[国民年金ってホントに必要なの！講座](#)

[国民年金ってホントに必要なの！講座 \(厚生労働省ホームページ\) \(外部リンク\)](#)

知っておきたい年金のはなし

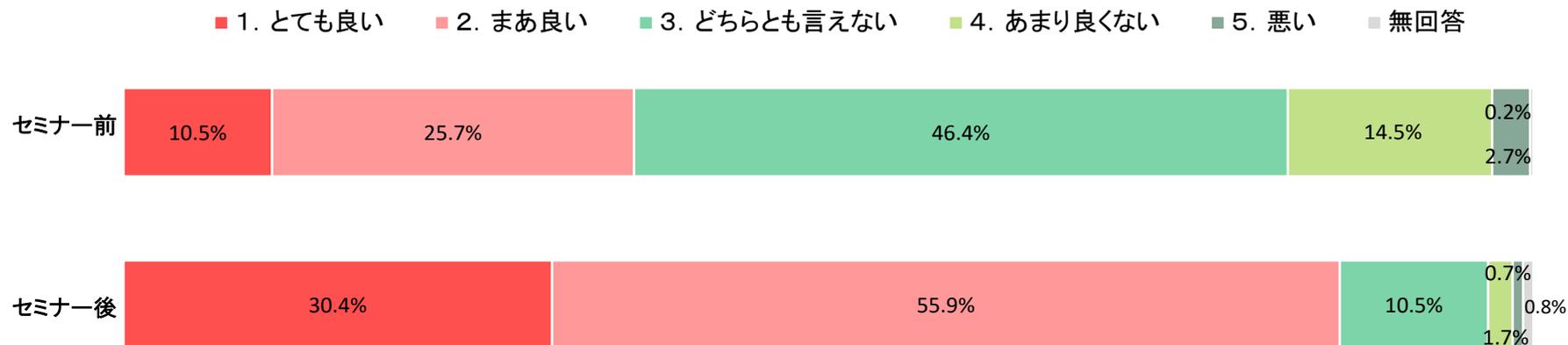


日本の公的年金制度は、老後の暮らしをはじめ、事故などで障害を負ったときや、一家の働き手がなくなったときに、みんなで暮らしを支え合うという社会保険の考え方で作られた仕組みです。そんな公的年金制度について、皆さまに知っておいていただきたい内容を動画にしています。

[知っておきたい年金のはなし](#)

年金セミナーアンケート結果(宮城県) ～「年金」に対するイメージ～

対象(アンケートを実施したすべての大学・短大・各種学校・高等学校) 令和4年度分



<ご感想の例>

○病気やケガの場合でも年金を受け取る事ができると知り、万が一のための備えがある事に安心しました。(専門学生)

○年金について全く分からなかったのが、知れて良かったです。まだ難しくてよく分からない所もあるので、自分でも調べてみようと思いました。(専門学生)

○年金と聞くと、自分の祖父や祖母を思い浮かべますが、そういった祖父たちのような方が受け取る老齢年金の他にも障害年金や遺族年金があると知る事ができたので良かったです。身近なものとしてこれからは考えていきたいと思いました。ありがとうございました。(高校生)

○少子高齢化で自分が払った分がちゃんと返ってくるか不安だったが、それについての説明が詳しくなかったため、イメージが良くならなかった。(大学生)

○20歳になった時によく理解できていない状態で国民年金に加入し、現在も学生の免除を受けているが、今回年金について説明していただいて、年金の仕組みについて理解することができた。(大学生)

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
<p>令和4年度の年金セミナー実施回数は令和3年度を下回りましたが、セミナー講師の養成や対面による質問や意見交換を重視した結果、年金セミナー実施後のアンケート結果において、令和3年度実施分以上に、年金に対するイメージの向上を確認することができました。</p>	<p>アンケート結果やいただいた意見・要望を参考に、今後の年金セミナーのより効果的な広報や実施方法を検討し、より多くの若い世代への制度周知に繋げていくため、セミナー実施勸奨をすべての大学や高校等に対し継続的に行います。</p>
<p>関係団体との共同開催による年金セミナーにおいては、令和3年度実施分の2倍以上となる948名の方を対象に実施することができました。</p>	<p>令和5年度以降も、共同開催の利点を活かし、より多くの方を対象に幅広い内容の制度周知が行えるよう、関係団体との連携を強化していきます。</p>

4 地域相談事業

(1) 事業の取組状況

① 自治体等における出張年金相談の実施

例年、年金事務所に来所するには時間のかかるお客様の利便性を考えて、年金事務所職員が遠隔地にある自治体等において出張年金相談を実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大予防等のため、常設の出張相談所のある気仙沼市以外の出張年金相談は行っていません。

○出張相談実施状況

年金事務所	実施場所	令和4年度実施回数	令和4年度対象人数	令和3年度実施回数	令和3年度対象人数
石巻	気仙沼市	243回	3,680名	242回	3,521名

② 社会保険労務士会開催の無料相談会への協力

仙台駅前のアエルにおいて、社会保険労務士会が開催した無料相談会に仙台東年金事務所職員も参加し、年金受給に係る相談対応を行いました。

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総括	今後の対応
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を確認しながらの実施となりましたが、社会保険労務士会の無料相談会への出張相談を実施する等、関係団体との協力による相談対応を行うことができました。</p>	<p>自治体等における出張年金相談は、地域住民の利便性とニーズを確認しつつ、自治体や関係団体との連携を図りながら令和5年度の実施を検討していきます。</p>

5 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取組状況

① 年金委員への研修会等

【職域型年金委員】

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により制限がある中での対応となりましたが、Web会議サービスを活用し、職域型年金委員に対し、社会保険事務手続きや制度改正等に係るオンライン研修を実施しました。

【地域型年金委員】

令和3年度下期に各都道府県に地域型年金委員連絡会を設置し、令和4年度においては計4回の宮城県地域型連絡会を開催しました。

宮城県内の各年金事務所にお集まりいただいた地域型年金委員とテレビ会議システムにより中継し、年金事務所との情報共有、活動依頼、支援事項の伝達及び地域型年金委員相互間の情報共有を行いました。また、研修会により、年金受給や国民年金に関する制度改正の留意点等の説明を行いました。

② 年金委員への情報提供

日本年金機構本部から職域型及び地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として「年金委員活動の手引き」をはじめ、年金制度全般にかかる資料や年金委員向け広報誌等を送付し、情報提供を行いました。

また、日本年金機構ホームページ内「年金委員通信」による年金委員制度や取組の紹介及び年金委員向けの研修資料やリーフレット等の提供による年金委員の皆様への情報提供を行いました。

5 年金委員活動支援事業

○職域型・地域型の違い

	職域型	地域型
年金委員の役割	厚生労働大臣から委嘱を受けて、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う	
活動区域	主に自社内	主に自治会等の地域
活動対象	自社の従業員、そのご家族等	自治体、地域住民等
活動内容	社員への年金制度の概要説明、社内での制度や手続きの周知	地域(町内会等)での制度や手続きの周知、年金相談等

○年金委員向け研修(令和4年度)

	回数	参加人数
職域型年金委員	14回	555人
地域型年金委員	24回	145人

③ 年金委員表彰式の実施

多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたっては全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険協会及び宮城県社会保険委員会連合会との共催により実施しました。

開催日	令和4年11月24日	
開催場所	仙台サンプラザ	
表彰対象	厚生労働大臣表彰	2名
	日本年金機構理事長表彰	7名
	全国健康保険協会理事長表彰	4名
	日本年金機構理事表彰	18名
	全国健康保険協会宮城支部長表彰	10名
	仙台東年金事務所長感謝状	5名
	仙台北年金事務所長感謝状	5名
	仙台南年金事務所長感謝状	5名
	石巻年金事務所長感謝状	6名
	古川年金事務所長感謝状	4名
	大河原年金事務所長感謝状	3名

④ 年金委員の委嘱拡大に向けた取組

令和4年度においても年金委員の委嘱拡大に取り組みました。

職域型年金委員については、新規適用事業所への勧奨や年金委員未設置事業所への勧奨等を継続的に実施することで、170名以上の委嘱拡大を行うことができました。

また、地域型年金委員についてはこれまで継続的に勧奨してきた日本年金機構OBや社会保険労務士、年金協会等関係団体のほか郵便局、町内会長や民生委員等にも勧奨範囲を広げた結果、20名以上の委嘱拡大を行うことができました。

○年金委員委嘱者数

	職域型年金委員数		地域型年金委員数	
	令和4年度末現在	令和3年度末現在	令和4年度末現在	令和3年度末現在
仙台東	537名	522名	38名	35名
仙台北	634名	593名	33名	29名
仙台南	486名	453名	30名	26名
石 巻	568名	543名	30名	23名
古 川	621名	573名	47名	45名
大河原	329名	319名	15名	12名
計	3, 175名	3, 003名	193名	170名

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<p>新型コロナウイルス感染症が残る中での取り組みではありましたが、テレビ会議システムやWeb会議サービスを積極的に活用することで、年金委員への情報提供や活動活性化に向けた取り組みを行うことができました。</p>	<p>今後もオンラインを活用した情報提供・情報共有を積極的に行うとともに、日本年金機構ホームページの年金委員ページを活用し、年金委員への効果的・効率的な情報発信を行います。</p>
<p>年金委員の委嘱拡大を最重要課題として勧奨範囲を拡大するなどして取り組んだ結果、職域型年金委員で170名以上、地域型年金委員で20名以上の委嘱拡大を進めることができました。</p>	<p>職域型年金委員については新規適用事業所や被保険者数が多い事業所への勧奨、地域型年金委員については市区町村や教育機関等へもアプローチを行い委嘱拡大を進めていきます。並行して、地域型年金委員連絡会や研修会を活用し、情報共有を積極的に行うことにより年金委員活動の活性化を目指します。</p>

6 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

毎年11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。特に11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、国民の皆様にご公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取り組みを実施しています。

○「ねんきん月間」における取組内容

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が残り、ねんきん月間についても制限がある中での取り組みとなりましたが、第4回宮城県ポスターコンクールの授賞式・作品展の開催をはじめ、年金委員表彰式の実施、年金セミナーの実施、全国年金委員研修の実施等、可能な範囲内ではありましたが、積極的な公的年金制度の普及・啓発活動を行いました。

また、令和4年11月は日本年金機構本部において、「やさしい年金のはなし」と題して、年金制度を分かりやすくご理解いただくための情報発信を日本年金機構公式Twitterでツイートしました。



「年金の日」のポスター

7 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しているところです。会議でいただいたご意見については、必要に応じて本部関係部署への情報共有を行うとともに、宮城県内の地域年金展開事業の運営の参考にさせていただいています。

8 各年金事務所の取組

仙台東年金事務所

○オンラインによる地域年金展開事業の拡張

令和3年度より開始した、日本年金機構のインターネット専用端末を利用したオンラインによる制度説明会等の制度周知・情報提供の取組を、令和4年度はさらに拡大しました。新規適用事業所への制度説明会や職域型年金委員への制度改正等に関する研修会等、毎月開催することで、より多くの対象の方に情報提供を行うことができました。Web会議サービスを使ったオンライン形式での開催方法については、利便性の面でも好評をいただいております。



オンラインによる制度説明会の様子

○年金委員活動支援事業

職場や地域における制度や手続きの周知・啓発活動をいただいている年金委員の皆様、広報誌の発行や研修会の開催による効果的な情報発信を行っております。職域型年金委員に対しては、Web会議サービスを活用し社会保険事務手続きや制度改正等に係るオンライン研修を開催し、地域型年金委員に対しては、地域型年金委員連絡会及び研修会を開催し、県内で統一的に年金事務所との情報共有、活動依頼、支援事項の伝達及び地域型年金委員相互間の情報共有を行うとともに、年金受給や国民年金に関する制度改正の留意点等の情報提供を行いました。

仙台北年金事務所

○年金セミナー事業

令和4年度は、6月からスタートし、上期は4校、下期は12校の合計16回の年金セミナー実施となりました。令和3年度と比べて回数で3回の増加となりました。学校側のご要望により、すべて対面での実施となりました。

実施後のアンケートにおいても、「年金の必要性を理解することができた」、「世代と世代の支え合いについて理解できた」という感想が多く、今後も年金セミナーの必要性を強く感じました。

○地域連携事業

関係団体等と連携し、計10回の年金制度説明会の開催や研修会への講師派遣等を行いました。

【特徴的な取組】

- ・地域型年金委員からの要望により、民生委員等を対象にした年金制度説明会へ講師を派遣。
 - ・区役所との連携により、外国人留学生が在籍する学校法人担当者向けの年金制度説明会へ講師を派遣。
- なお、地域型年金委員の皆様からは、これからも各種多様なテーマの年金制度説明会の開催をご要望されており、今後もお応えできるよう取り組んでまいりたいと思います。



年金セミナーの様子

仙台南年金事務所

○地域連携事業

地域のニーズにお応えするため、研修会・講習等の開催や講師派遣を実施しました。主な取り組みとしては、①障害者支援施設(宮城県立支援学校岩沼高等学園、太白ハンズ)において父兄向けの障害年金制度説明会および意見交換の実施。②関係機関(宮城県社会保険協会、宮城県年金協会)からの要望により講師を派遣して老齢年金、遺族年金に関する研修会を実施するなど計8回実施してきました。

今後も地域の皆様が関心を寄せているテーマについて研修等を実施し公的年金制度の周知、理解、支援のネットワーク構築の取り組みを実施してまいります。

○年金セミナー事業

年度当初に年金セミナー講師の入れ替えがあったため、上期は所内セミナーPT会議の中で模擬セミナーを実施する等練習を重ね、年金セミナー講師の育成を図り、より質の高い年金セミナーを開催できる体制を構築してきました。



年金セミナーの様子

その甲斐あってか、初めて務めたセミナー講師の実施後のアンケート結果では、「年金に対しあまり良いイメージが持てなかったのは、よく理解していなかったからだと思いました。20歳になったらしっかり支払いたいです。」「詳しく説明を聞き、将来の不安などが解消されました。」などセミナー前後で年金制度に対するイメージに変化が見られます。

今年も若年世代の方々への分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。

石巻年金事務所

○年金セミナー事業

令和4年度は6校、合計12回の年金セミナーを実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により実施を見合わせた学校もありましたが、令和4年度は全て対面での開催となっており、令和3年度に比べて学校数で3校、回数で8回の増加となりました。

いずれの年金セミナーにおいても、実施後のアンケートでは「年金のイメージが良くなった。」「年金制度に対する考え方が変わった。」との回答が大幅に増加し、年金セミナーによる年金制度の周知の重要性を感じております。

今後も年金制度に対するご理解を深めていただけるよう取組を推進していきます。



年金セミナーの様子

○地域相談事業

令和4年度の自治体等における出張年金相談として気仙沼出張相談所において243回実施し、相談件数は、3,680件(一日あたり平均15.1件)となっております。

令和3年1月以降、事前予約による相談が周知されたことから相談者数が減少しましたが、令和4年度は、岩手県内からの来訪者もあり、気仙沼出張相談所の相談者数は、令和3年度に比べて159件の増加となりました。今後も事務所と気仙沼出張相談所と連携を取りながら、お客様に寄り添った対応を取り組んでいきたいと考えております。

古川年金事務所

○年金セミナー事業

昨年度は、新型コロナウイルスの感染状況が拡大縮小を繰り返していたこともあり、学校側の希望に合わせて、対面開催を取り止めDVDによる動画提供にする等、工夫しながら取組を進め、対面開催は6校で行いました。

令和5年度は、新型コロナウイルスの扱いに変更があったことも踏まえ、積極的に年金セミナー開催を目指したいと思います。



年金セミナーの様子

○年金委員活動支援事業

昨年度、年金委員の皆様に対しての連絡会・研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響でオンライン開催で始まりましたが、感染拡大状況を見ながら、対面での開催を再開し、地域型連絡会は4回実施しました。県代表年金事務所と連携し、新たな連絡会の在り方及び、今後、地域型年金委員の皆様と年金事務所との「実効性のある年金制度の周知」について共有しました。

また、迅速な書類届出、ペーパーレス化及び引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止を兼ねた、「電子申請」、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、職域型年金委員設置事業所へ訪問による勧奨や周知チラシの設置依頼を行いました。

当所でも年金委員の委嘱者数は着実に増えてきており、今後も年金制度をより多くの方にご理解いただくためにも、引き続き年金委員の委嘱拡大に取り組んでまいります。

大河原年金事務所

○年金セミナー事業

引き続きコロナ禍のため管内では、高等学校を中心に7校での開催となりました。また、他管轄の高等学校への講師派遣を5回行う等、次年度に繋げる取り組みを行うことができました。

今後も、講師のスキルの向上を図り、引き続き分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。

○年金委員活動支援事業

地域型年金委員連絡会及び研修会は四半期に一度計4回開催しました。地域におけるポスター・リーフレットの配布等、広報活動を中心に議論しました。

職域型年金委員向け研修会につきましては、適用拡大のテーマで2回開催しました。

令和4年度の年金委員の委嘱拡大により、年金委員が増加したこともあり、令和5年度は年金委員への活動支援の充実を図ってまいります。



年金セミナーの様子